

防災気象講演会

津波から 命を守る

入場無料

(事前申込不要)

開催日時

平成 25 年 2 月 2 日 (土) 13 時 00 分 ~ 16 時 00 分

演題・講師

講演 1: **防災のための心理学**

～災害時の心理と行動を知る～

東北大学災害科学国際研究所 教授

むらもと としあき
邑本 俊亮 氏

講演 2: **津波から逃げる**

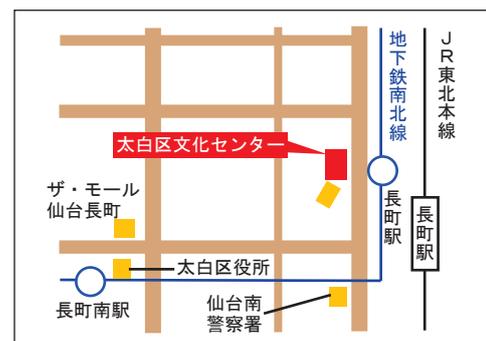
～3月から変わる津波警報とその活用について～

気象庁地震火山部 地震津波防災対策室長

わかやま あきひこ
若山 晶彦 氏

開催場所

仙台市太白区文化センター
ららら
楽楽楽ホール



会場へお越しの際は、
公共交通機関をご利用ください。

主催：仙台管区気象台・宮城県

後援：仙台市

防災気象講演会

開催趣旨

2011年3月11日に発生した未曾有の大震災。20,000人余の尊い命が奪われ、今もなお多くの人々が避難生活を余儀なくされています。

私達の住む東北地方は、これまでも幾度となく津波に襲われてきました。この悲しみをこれ以上繰り返すことのないよう、津波から命を守るための知識と心構えを次の世代へ引き継いでいくことは、私達に課せられた大きな使命です。

今回の講演会が、皆様をはじめとした県民ひいては東北地方にお住まいの全ての人々の命を守ることに役立てば幸いです。

講演内容

講演1: **防災のための心理学** ～災害時の心理と行動を知る～

むらもと としあき
邑本 俊亮 氏

東北大学災害科学国際研究所 教授



私たち人間はとても自分勝手な思い込みをすることが多い生き物です。普段とは違うことが発生しても、「これくらいは大丈夫」とか「いざとなったら何とかなる」などと思ってしまう。このような人間の心理は、普段の生活の中では自分の心の安定を図るために必要なものですが、災害時には避難行動を遅らせてしまう原因となります。

私たちは、災害のことをもっとよく知っておくべきで、また、人間の心理についてもよく知っておくべきでしょう。そうすることで、災害時に情報を正しく受け止め、的確な判断や行動がとれる可能性が高まります。

講演2: **津波から逃げる** ～3月から変わる津波警報とその活用について～

わかやま あきひこ
若山 晶彦 氏

気象庁地震火山部 地震津波防災対策室長



気象庁は、東日本大震災での未曾有の津波被害を教訓とし、津波警報の改善に取り組んでいます。津波被害の軽減には、避難を促す津波警報の精度向上や迅速な発表とともに、地震発生時に一人ひとりが避難を判断し、迅速に行動することが大変重要です。

本講演では、津波から避難する方法や津波の特徴、3月7日から運用を開始する新しい津波警報について、日頃からの備えとしていただけるようわかりやすく解説します。